



令和4年2月8日
陸上幕僚監部

日米共同訓練への参加について

陸上自衛隊は、日米同盟の抑止力・対処力を強化するべく、以下のとおり日米共同訓練に参加しました。

1 目的

米海軍艦艇への回転翼機による発着艦訓練を実施し、戦術技量を向上させるとともに、日米の相互運用性向上及び日米同盟の抑止力・対処力の強化を図る。

2 期間

令和4年2月6日（日）

3 場所

沖縄周辺海空域

4 担任官

陸上総隊司令官 陸将 まえだ 前田 ただお 忠男

5 訓練実施部隊

第1ヘリコプター団及び水陸機動団

6 特色

- 海上自衛隊と米海軍が実施する日米共同訓練への参加
- 発着艦実施に関して、海上自衛隊及び米海軍との連携要領を実行動により演練し、統合運用態勢の強化及び日米の共同対処能力の向上に寄与
- 第1ヘリコプター団のCH-47は木更津駐屯地を出発、相浦駐屯地で水陸機動団の隊員を搭載したのち、沖縄周辺海域において米海軍強襲揚陸艦に着艦する南西地域への展開要領を確認

7 新型コロナウイルス感染症対策

本訓練に参加した隊員については、先天性免疫不全などによるワクチン接種ができない隊員を除き、全ての隊員が新型コロナウイルスワクチンを2回接種済であるとともに、訓練開始前後にPCR検査等を受検。また、防衛省・自衛隊が定める方針に基づき必要な感染症対策を十分に講じて参加